

WAN STYLE TOPOS

事業所データ

- 法人名 株式会社 WANSTYLE
- サービス種別 通所介護
- 利用定員 60名
- 所在地 沖縄市与儀一丁目2番23号 1階
- 従業員数 23名（常勤14名/非常勤9名）



小さい事業所でもできることはたくさんある

■ 職員の待遇や働きやすさが好循環に

生産性向上の目的は、コスト削減ではありません。無駄だと感じられる業務をなくし、そこで生まれた余力や原資を「職員の待遇」や「働きやすさ」に振り向けることで、結果的にサービスの質が高まり、稼働率が高まることで収入も増えるという好循環こそが、生産性向上であると考えています。

■ 身近なテクノロジーの活用を考える

私たちがようにデイサービスを主とする小規模な事業所では、大規模な予算をかけてロボットを導入することは難しいのが実情です。一方で、予算をかけずとも便利に活用できるサービスや商品は数多くあります。例えば、防犯カメラによる見守りや、タブレット端末による音声入力などが挙げられます。これらは、いわゆる介護専用のテクノロジーではありませんが、使い方次第で業務の効率化に十分寄与します。

■ 防犯カメラやタブレット端末といった介護専用ではない機器の活用

ポイント 防犯カメラによる利用者の見守り

利用者が外の空気を吸うために屋外に出ようとするたびに、職員が声掛けを行っており、双方にとってストレスとなっていました。

事業所の周辺に防犯カメラを設置することで、利用者が自由に外に出られるようにし、遠くへ行こうとする様子が見られた場合のみ声掛けを行うというオペレーションに変更しました。

ポイント タブレット端末の標準機能を活用した音声入力

利用者を見守りながら、PCや手書きによる記録や連絡票を作成することが難しい状況がありました。

タブレット端末に標準で備わっている音声文字起こし機能を活用し、利用者を見守りつつ、音声入力での記録や連絡票を作成しています。



■ 送迎計画の作成時間を削減等、職員とともに効率化を徹底することで高い時給を実現

最近の取組として、送迎システムを導入し、送迎計画の作成に要する時間を半減することができました。このように日々、効率化を意識し実践していることで、職員の残業はほとんどありません。職員には、業務が早く終われば帰ってよいと伝えており、「終業5分前退勤」を目標としています。これにより、職員自身も、いかに効率化するかを考えるようになっています。こうした効率化を徹底することで、高い水準の時給を設定することができています。

	導入前	導入後
送迎計画の作成時間	60分/日	30分/日
リーダー職員の募集時給	2025年 1,500円	



知花 朋弥さん
(法人代表)



メッセージ 「当たり前のことを実践する」

介護業界は、他の業界と比べてアナログな部分が多く、当たり前のことが十分にできていないと感じる場面があります。テクノロジーの活用に加え、例えばSNSを活用した広報や営業活動など、他の業界では一般的となっている取組を実践することで、人材確保が徹底されるとされる介護業界においても、よい人材を採用することができています。

日々、現場の状況を見ながら職員と話し合い、当たり前のことを着実に実践していくことが大切だと考えています。